

# こんなところに

## 市民憲章

1. 富士山のように 広く  
思いやりの心をもち  
たがい助け合います

### 中学生が福祉の現場を体験



◁一緒にゲームを楽しむ

夏休み期間中、中学生の福祉体験講座が、大淵・岩倉の社会福祉法人誠信会で開かれました。

この講座は、市ボランティアセンターが各中学校に呼びかけて行ったもので、ことしで2回目。延べ140人の生徒が4班にわかれ、1泊2日、お年寄りや障害者と交流しました。

参加した田子の浦中学校3年生の西村千穂さんは「食事の介助や散歩、ゲームなどをしました。みんな無邪気で、感謝してくれ、うれしかったです」と話してくれました。



△写真真右から隆さん、愛さん、知子さん、隆介君、千穂さん

鶴見さんちは、旭化成にお勤めの隆さん（四十七歳）、奥さんの知子さん（四十歳）、長男で富士東高三年の隆介君、長女で同高一年の千穂さん、次女で神戸小五年の愛さんの五人家族です。

——延岡市はどんな街？

「宮崎県北部の中心城市で人口は約十三万人。旭化成の城下町です。風土はのんびりしており、市の中心を流れる川でアユがとれるなど、自然環境がよい街です」

——富士市の率直な感想を

隆さん「延岡より暑くなく気候が

いいですね。東京に近く地の利もあると思います。富士市は合併してできた街だそうですが、中心地といえましょうか、そのようものがあれば、もっとまとまるような気がします」

知子さん「おいと煙突の煙が、なんとかならないでしょうか。街が活発なためでしょうが、トラックの多さと運転の荒っぽさにも驚きました。水がおいしく、魚が豊富なのは満足しています」

隆介君「受験のことのにんびりじゃないかな」

千穂さん、愛さん「うさ、うさ、という方言が気になりましたが、今はすっかりなじみました」

——行政への要望は

隆さん「四年制の大学があってもいいんじゃないですかね」

知子さん「瓶・缶の収集が二週間に一度ぐらいにならないかしら」

隆介君「坂が多く自転車通学が大変。交通量も多いので通学路の整備をお願いします」

〓 初めまして!! 市民一年生です 〓

## 街にへそのような中心地をつくれば、もつとまとまるのでは。

今回は、ことし三月に宮崎県延岡市から転勤でみえた鶴見隆さん（神戸一）のお宅におじゃましました。穏やかな雰囲気、鶴見ファミリーが感じた富士市はどんな？

いいですね。東京に近く地の利もあると思います。富士市は合併してできた街だそうですが、中心地といえましょうか、そのようものがあれば、もっとまとまるような気がします」

知子さん「おいと煙突の煙が、なんとかならないでしょうか。街が活発なためでしょうが、トラックの多さと運転の荒っぽさにも驚きました。水がおいしく、魚が豊富なのは満足しています」

隆介君「受験のことのにんびりじゃないかな」

千穂さん、愛さん「うさ、うさ、という方言が気になりましたが、今はすっかりなじみました」

——行政への要望は

隆さん「四年制の大学があってもいいんじゃないですかね」

知子さん「瓶・缶の収集が二週間に一度ぐらいにならないかしら」

隆介君「坂が多く自転車通学が大変。交通量も多いので通学路の整備をお願いします」

人と人との交流の原点  
第2回「女性フォーラム」の  
実行委員長

かわ せら しず こ  
**川村 静子さん**

(大淵)



女性フォーラムって何。ただ今、井戸端会議中。立ち話もなんですから……と、昨年から始まった女性フォーラム。今年も、十月二十八日に開かれます。実行委員長は、川村静子さん。引き続きの登板です。

「女の人生八十年。当然ライフサイクルも変わって、今までのお手本だけでは、済まされなくなってきたいます。みんな、自分らしくどう生きていくのかを模索しています。そんな女性たちが集まって、ワイワイガガヤ。言いたいことを言い合って。富士市の女性フォーラムって、井戸端会議です」

井戸端会議だから、基本は話し

合い。ルールもないし、結論もいらなから、会場に控える助言者も必要ありません。

「大切なのは、いい雰囲気づくり。知らない人同士でも、スーッと自然に溶け込めるような。自分のことを話したり、人の話を聞いたりしながら、新しい何かが発見できるような。そんなすてきな、出会いの場にしたいですね」

今、五人の企画委員も決まって、分科会のテーマやネーミングづくりに追われています。

「だれもがワクワクするようなネーミングにしたいし、分科会の数をもっとふやして、少ない人数で話し合いたいと考えています。フォーラムは、みんなできつくり上げるもの。一人ひとりが、主役なんです」

川村さんは、どちらかという話し手よりも聞き手のタイプ。そして、幅広いネットワークを持つ人です。